

科目	日本語論文	担当	伊藤 春子	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	選択	単位数	1単位

**【授業目標・到達目標】**

この授業は、レポートや論文に必要な論理的な文章を日本語で書く力を身につけることを目標とする。授業では、課題を通して、正確で適切な日本語で表現する(文章を書く)訓練を繰り返す。そのためには、高い日本語能力(語彙力・表現力・文法知識)だけでなく、大学生らしい論理的な思考力を身につけること、情報を選択すること、文章の構成をよく考えることが必要である。この授業を通し、思考力と卒業論文へとつながる文章表現能力の向上を目指す。

**【履修注意】**

- ・留学生必修科目につき、日本人学生は履修不可。
- ・受講生は、後期オリエンテーションにて指定されたクラス(①または②)を受講すること。
- ・毎回、辞書を必ず持参すること。

**【評価方法】**

授業中の課題(タスクシート・作文) 50%、中間まとめ20%、学期末の課題 30%

- ・授業中の課題は、授業中に提出する。提出期限に遅れた場合は、減点する。
- ・他の人が書いたものを盗用しない。盗用したものを提出した場合は、不合格とする。

**【試験について】**

再試験は行わない。また、毎回、課題があるため、授業に必ず出席し、課題を提出すること。

**【予習・復習】**

毎回出される課題(予習・復習)をしっかりと行うこと。また、自分のテーマに応じた情報収集を行ってから授業に出席すること。

**【教科書】**

『改訂版 大学・大学院 留学生の日本語④論文作成編』アカデミック・ジャパニーズ編(2015)、アルク

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	オリエンテーション&第1課	作文の基本(1)
2	第2課	作文の基本(2)
3	第3課	課題の提示、作文①
4	第4課、第5課と作文②	目的の提示、定義と分類、作文②
5	第6課、第7課	図表の提示、変化の形容
6	第8課	対比と比較
7	応用課題	図表を説明する
8	中間まとめ	前半のまとめとして意見文を書く
9	中間まとめフィードバック、第9課	意見文フィードバックと学期末論文の導入、原因の考察
10	第10課、第11課	列挙、引用
11	応用課題、第12課	応用課題(引用)、同意と反論
12	第13課、学期末論文作成①	帰結、学期末論文作成①:導入と現状分析チェック
13	第14課、学期末論文作成②	結論の提示、学期末論文作成②:資料を基に考察する
14	第1稿のフィードバック	第1稿の個別チェックと修正
15	第2稿のフィードバック	第2稿の個別チェックと修正・最終稿提出
16	学期末論文発表会	学期末論文の発表とフィードバック